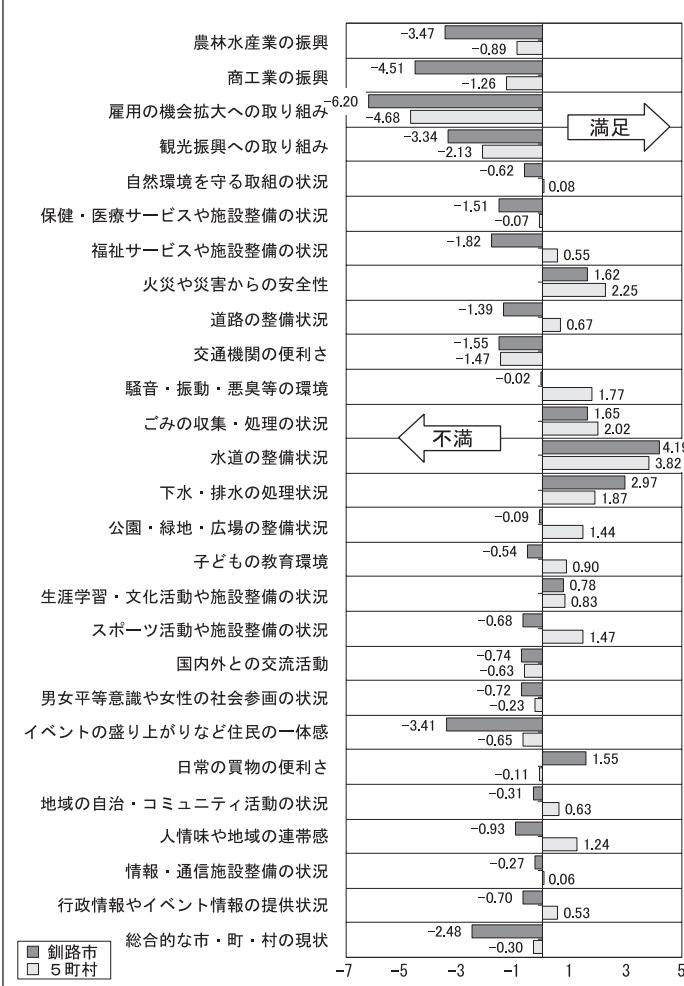


# 住民意向調査(アンケート)の結果

グラフ1

現在住んでいる市町村の現状



合併協議会では、今年4月に6市町村において、1万人を対象とした住民意向調査を行いました(調査票配布数および回答数は次ページ下)。これは合併後のまちづくりの当面の基本計画となる「新市建設計画」の策定に、住民の皆さまの意見を反映すること、心配なことなど9項目について質問しました。

回答の集計結果の一部を鉄路市と5町村を比較した形で紹介いたします。

なお、全項目の詳しい内容については、今後、鉄路市のホームページに掲載していきます。

合併には「効率化による経費削減」を期待します

鉄路市民の回答では上下水道、日常生活の買い物の便利さなど生活基盤で満足度が高いものの、産業、雇用の面で不満があらわれた結果となっています。

「現在住んでいる市町村の現状」の満足度は?

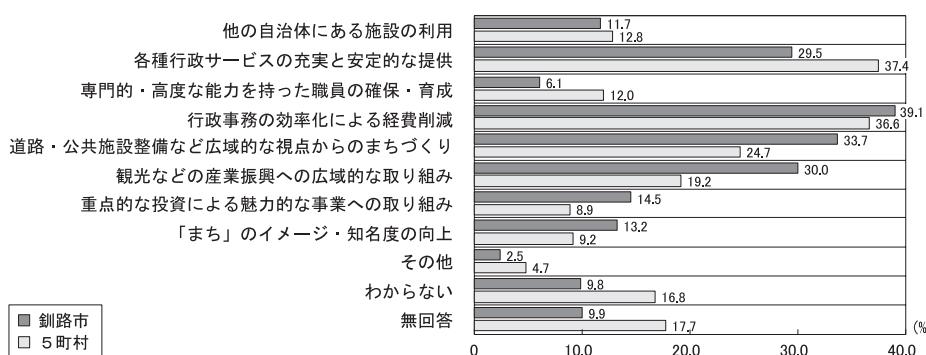
グラフ1

減「行政サービスの充実と安定的な提供」「広域的視点からのまちづくり」「産業振興への取り組み」などへの期待が高い割合を占めています。一方、5町村で「わからない」「無回答」が多くなっています。



グラフ2

6市町村が合併するとしたら期待すること

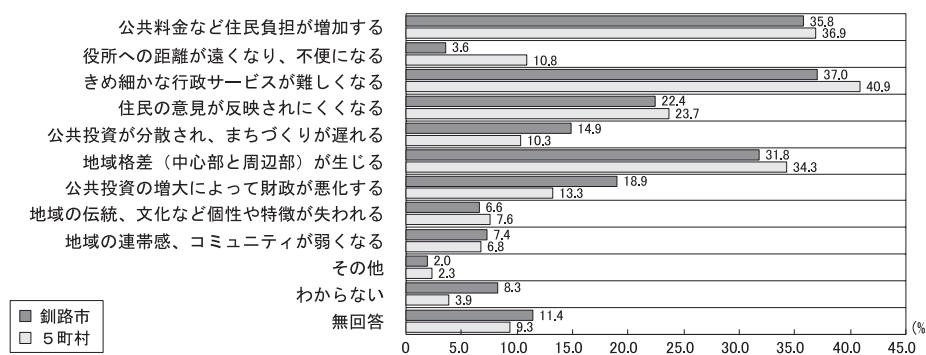


合併したら「サービスが低下しないか」心配です

グラフ3

グラフ3

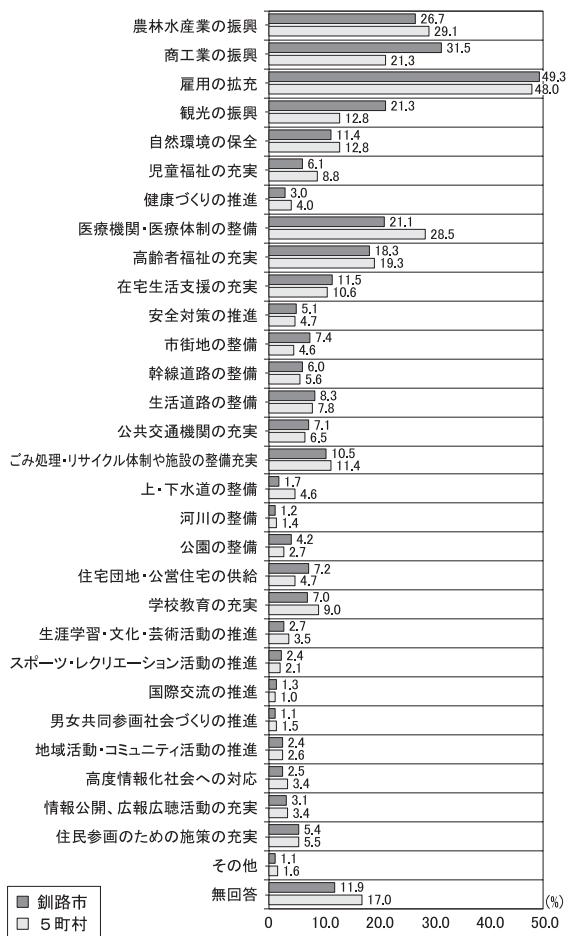
6市町村が合併するとしたら心配なこと



合併したら「きめ細やかな行政サービスが難しくなる」「公共料金などの住民負担が増加する」「地域格差が生じる」「住民意見が反映されにくくなる」「地域格差が生じる」と心配なっています。

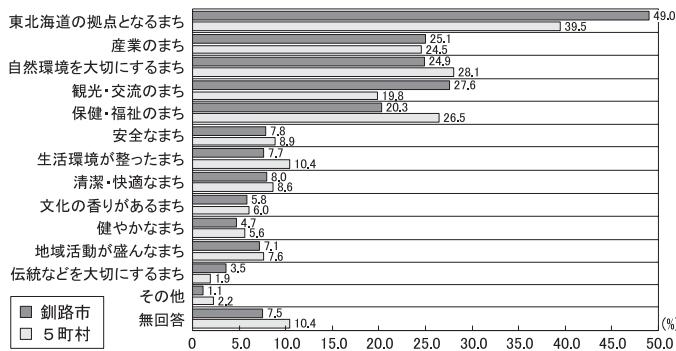
グラフ4

6市町村が合併するとしたら重点的に取り組んで欲しい施策は?



グラフ5

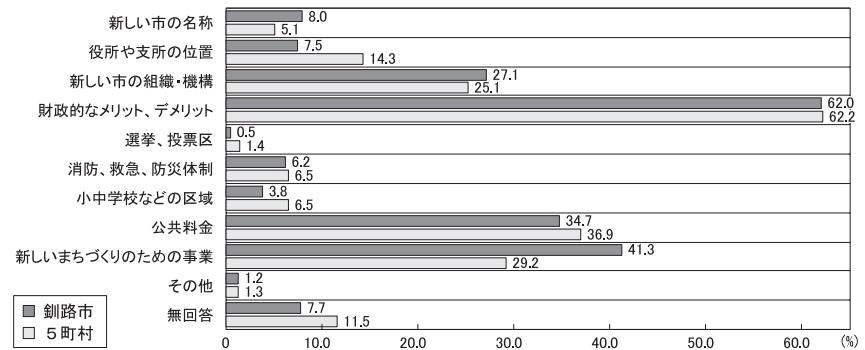
## 新しい市となった場合のイメージ



「産業振興」「雇用の充実」に取り組んで!  
「新しい市」のイメージは「東北海道の拠点となるまち」  
です。  
合併後に重点的に取り組んで欲しい施策については、グラフ1の質問の結果が反映され、満足度が低かった分野の施策が多くあげられています。  
合併後も「財政的なメリット・デメリット」が圧倒的に多く、「新しくまちづくりのための事業」「公共料金」などが続きます。  
また5町村では「役所や支所の位置づけ」について、釧路市よりも関心が高くなっています。  
●調査票配布数および回答数（不明等を除く）（単位：人）

グラフ6

## 知りたい情報



合併の「財政的なメリット・デメリット」が知りたい  
ト」が知りたい  
グラフ6

合併に関して知りたい情報は6市町村とも「財政的なメリット・デメリット」が圧倒的に多く、「新しくまちづくりのための事業」「公共料金」などが続きます。  
また5町村では「役所や支所の位置づけ」について、釧路市よりも関心が高くなっています。

「合併に関する情報の入手方法は」という質問での釧路市民の回答は「新聞・テレビなど」が51・2%、「広報や集会」が28・1%となっています。  
また、15・1%の方が「ほとんど情報を得てない」と答え、このうち、10代～30代が約80%を占めています。  
市町村合併は、住民の皆さんと一緒に考えていかなければならない問題です。今後も広報誌などを活用し、広くたくさん情報提供を行つまいります。

「合併に関する情報」は各種報道から

## ★市町村合併について、説明に伺います★

『地域懇談会』『まちづくり出前講座』などで、市町村合併について、説明に伺います。お申し込みやご意見・ご要望は企画課企画担当まで。

TEL31-4502 E-mail:ku120501@city.kushiro.hokkaido.jp